

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 10 月 26 日

事業所名: ハビネス国際ほみ放課後等児童デイサービス

公表: 令和3年12月17日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	年齢で、部屋を分散	
	② 職員の配置数は適切である	8	0		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1		できる事、できないことがあるが、できる限りの改善は行っている。・必要に応じた対応を行っている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	8	0	常に連絡、話し合いを行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	外国人向けの評価表により、情報収集している。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	公的な研修の他に、年12回の社内研修を行っている。	本年度はコロナウィルスの影響で、公的な研修はなかった。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	全員、同じアセスメントシートにて行っている。ポルトガル語と両訳版となっている。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	常に話し合い、曜日別プログラムを展開している。	季節にあった工作や作品のギャラリー作り、音楽、書画、日本語、英語、ポルトガル語など、また行事も行っている。特にコロナ対策を気を付けて行っている。
	⑬ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		以前より集団活動を実施していたが、コロナ禍のこともあり、集団でできる活動の場を見直しするようになってきた。
	⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	毎日支援前に、打ち合わせ、または伴漕等を聞き見直しを行っている。	
	⑮ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0		
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	リズムや、ミーティング記録に記入している。	
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	モニタリングの際は、相談支援も兼ねて実施するようにしている。	
	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0		



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	0	以前の利用者で、診察に同行することもあった。	医療的ケアが必要な利用者がいないが、関係機関との必要連携機能は把握しておきたい。
	㉑ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0		
	㉒ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		
	㉓ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1	・一緒に活動機会はないが、送迎時に情報共有、連携を行った。 ・公園で一緒にいることはある。	学校の送迎時のみ。コロナウィルスの影響もあり、実施できない。
	㉔ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1		機会がない。
	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		頻繁に行っている。
保護者への説明責任等	㉖ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2		研修的なトレーニングプログラムは行っていない。情報は知りたい。
	㉗ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		保護者の悩み事を助言等によって支援することとで、子供も最大限に能力を引き出すことを優先にしている。
	㉙ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3		近年ではコロナ禍により、集団での開催は見送らせているが、どの様に連携が取れるか模索中。
	㉚ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		必ず議事録に起こし、対応を行っている。
	㉛ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0		HPや、季刊ニュースを発行している。
	㉜ 個人情報に十分注意している	8	0		研修を行い、啓蒙している。
	㉝ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	㉞ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5		地域ボランティアと交流がある。
	非常時等の対応	㉟ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	
㊱ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		8	0		・年2回行っている。 ・毎年、訓練内容に応じて対応している。
㊲ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		8	0		毎年、社内研修内容に取り入れている。
㊳ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		8	0		ニュース等で近年問題になり取り上げているが、ドコモ等の事例を定期的に虐待防止に務めている。
㊴ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		8	0		利用者が病院に行き、指示を伝えていく。
㊵ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		8	0		

【事業所における自己評価集計結果グラフ】

